

青森県内のバイオマス活用事例

資料6-3

	事例	事業主体	バイオマス資源	利活用方法	事業概要
1	廃食油を活用したBDFの製造	八戸市	廃食油	燃料(BDF)	一般家庭から排出され、従来は可燃ごみとして焼却処分されていた廃食油を回収し、BDF(Bio Diesel Fuel:バイオディーゼル燃料)に加工。製造したBDFは、市の公用車の燃料として利用している。
2	食品廃棄物を利用した飼料及び堆肥の製造	有限会社エコ・ネット	コンビニ・スーパー等の食品廃棄物	資材(飼料・堆肥)	コンビニエンスストアやスーパーマーケットから生ごみを回収し、堆肥化して農家などへ販売。また、一部を乳酸発酵により飼料化し、市販の配合飼料に30%混合して自家豚に給餌する。
3	間伐材などを活用したペレット燃料の製造	津軽開発協同組合	間伐材・製材廃材	燃料(ペレット)	町内で発生する製材廃材、間伐材、流木、河川支障木、道路支障木などを収集し、ペレットを製造。製造したペレットは、町内の福祉施設、商業店舗、一般家庭、農業用などとして販売する。また、ペレットには通常のホワイトペレットとは異なり、品質(熱量)向上のために粉末状の木炭を混入。
4	剪定枝などを活用した木質チップの製造	有限会社白神バイオエネルギー	りんご剪定枝・伐採木	燃料(チップ・薪・木炭)	りんご農家から大量に排出される剪定枝などの木質資源を回収し、細い枝は業務用ボイラーのチップ燃料として、太い木は家庭用ストーブの薪として、その他は木炭製品としてそれぞれ加工して販売する。
5	製材残渣を活用した多目的チップの製造	有限会社横浜製材所	製材残渣・間伐材	燃料(チップ)	自社及び周辺の製材所から排出される製材残渣(パーク)を利用してチップを製造。製造したチップは堆肥や製紙の原材料、ボイラー用燃料として、主に下北地域の畜産農家や製紙工場などへ販売する。
6	りんご剪定枝を活用した木炭製品の製造	社会福祉法人桐の里	りんご剪定枝・間伐材	燃料(木炭)	りんご園から剪定枝を収集して炭化し、燃料用木炭、床下調湿剤、土壌改良材などとして製品化。製品は市内の量販店や建築業者などへ販売する。
7	ペーパースラッジなどによるリサイクル発電	三菱製紙株式会社 八戸工場	ペーパースラッジ・廃木材・廃タイヤ	熱利用(発電)	自社工場で発生するペーパースラッジ(古紙を再生する過程で発生する廃棄物)や県内の製材所から排出される廃木材、その他地域から受け入れる廃タイヤなどを燃料として発電を行い、工場のエネルギー源として利用。また、発電により発生した焼却灰は地元セメント業者の協力によりセメント材料として再利用される。
8	家畜糞尿や野菜残渣を活用した堆肥の製造	東北町(管理運営:ゆうき青森農業組合)	家畜糞尿・野菜残渣	資材(堆肥)	畜産業と畑作が盛んな東北町で発生する家畜糞尿と野菜残渣を原料とした高品質堆肥を製造し、耕種農家に供給する。
9	食品廃棄物を木材残渣を活用した堆肥の製造	環境緑化工業株式会社	食品廃棄物・木屑・ホタテ貝殻	資材(堆肥)	自然の力(好気性発酵菌、太陽熱、ホタテ貝殻の消臭効果)を最大限に活用した低コストで効率的な堆肥生産システムの開発を目指し、ホテルやスーパーなどから排出される事業系食品廃棄物と、自社で産業廃棄物として受け入れている剪定枝等の木質バイオマスを混合して堆肥を製造。製造した堆肥は、近隣農家や造園業者などへ販売する予定。
10	稲わらを活用した堆肥の製造	藤崎町(運営:藤崎町稲わら利用組合)	稲わら・鶏糞・籾殻	資材(堆肥)	稲わらに発酵鶏糞と籾殻を混ぜて堆肥を製造し、町内の野菜畑やりんご園の土づくりとして使用。また、当初は堆肥製造のために収集していた稲わらだが、畜産牛の粗飼料や一般家庭でのガーデニング用材料としての需要が増加している。
11	食品廃棄物を活用した飼料(TMR製品)の製造	らくのう青森農業協同組合	りんごジュース粕、豆腐粕、醤油粕、ビール粕、キノコ菌床粕	資材(飼料)	りんごジュース加工場などの食品加工業者から排出される食品製造副産物に配合飼料を加えて発酵混合飼料(TMR ※)を製造し、地元酪農家などへ販売。 ※ TMR(完全混合飼料)…粗飼料と濃厚飼料を適切な割合で混合し、必要な成分を十分供給できるように調整した牛の飼料。乳牛の健康維持や乳量のアップに効果がある。
12	ホタテ貝殻を活用した凍結防止剤の製造	青森エコサイクル産業協同組合	ホタテ貝殻	資材(凍結防止剤)	県内で大量に排出され、産業廃棄物として処理されているホタテ貝殻を活用した環境に優しい非塩素系凍結防止剤の製品化。